

令和6年度 第2回 気賀小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年6月27日（木） 午後1時15分から午後3時10分まで
- 2 開催場所 気賀小学校 第1会議室
- 3 出席委員 宮崎順孝、石川隆久、長谷川真奈美、田力祐二、山田真代子、木俣契一、石田潤司、小田木真砂子、藤田嘉代、齊藤悦子
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 山下康夫（細江協働センター長）、山口朋章（細江協働センター・コミュニティスクール担当）
- 6 学校支援コーディネーター 富田彩夏
- 7 学 校 石野政史（校長）、内山忠久（教頭）、太田恵理子（主幹教諭）、大軒麻奈代（CS担当職員）、内山尚子（CSディレクター）
- 8 傍聴人 なし
- 9 会議録作成者 内山尚子（CSディレクター）

10 議長の選出

前回運営協議会後に議長の選出について意見を求めたところ、多くの委員から宮崎会長を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 学校支援コーディネーターの活動経過報告と振り返り
- (2) 学校の抱える課題（気賀の子供たちの現状）とビジョンを実現するための支援策の具体について

12 会議記録

司会の内山教頭から、委員総数10人の出席があるため会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校支援コーディネーターの活動経過報告と振り返り

司会の内山教頭の指示により、小田木委員、藤田委員から、別紙資料に基づき活動経過報告があった。

(2) 学校の抱える課題（気賀の子供たちの現状）とビジョンを実現するための支援策の具体について

議長の指示により、太田主幹から、別紙資料に基づき学校の抱える課題（気賀の子供たちの現状）とビジョンを実現するための支援策の具体についての説明があり、委員からは以下の発言があった。

授業参観での子供たちの様子（よいところ、気になるところ）

- ・ 図書館の利用の様子を見ていると、本をゆずり合うなど、子供同士で思いやっていると感じる。（石川委員）
- ・ 1年生もタブレットを使えていてすごいと思った。（宮崎委員）
- ・ タブレットのいろいろな使い方を見て、先生方も教えるのがたいへんだと思った。今後、持ち帰り等が始まると個人差が出てくるのではと思う。（山田委員）
- ・ タブレットの使用により、字を書かなくなることが心配。（長谷川委員）
- ・ タブレットを使った授業が多いせいか、静かだと思った。コミュニケーション力が落ちるのではと心配。（木俣委員）

- ・ 学ぶ姿勢が身につけていて素晴らしいと思った。仲間のために何かをするという経験も積んで今後に活かして欲しい。（石田委員）
- ・ 授業中の姿勢（気持ち）を保持する力が必要だと思った。（齊藤委員）
- ・ 子供は、タブレットを使い出すと適応が早い。これからはずっと使っていくツールとなる。（石野校長）

地域や学校ができること

○地域の様子

- ・ 気賀小の子供はコンビニエンスストア利用時のマナーがよい。また、いろいろな場面で高学年がもっとリーダーシップを発揮してほしいと思う。多くの子供は、大人から叱られることがない。叱られる経験も必要だと思う。（田力委員）
- ・ 子供たちが、自分たちのルールは自分たちで決めていくようになっていくとよい。叱った後の対応の仕方（ほめる、遊ぶ）が大切である。（石野校長）

○学校の課題

- ・ 学校の課題の中で△がついているところを、それぞれのクラスで、自分たちはどうしたらよいかを話し合い、学年で切磋琢磨して、改善していけるとよい。また、給食や家庭での「食事のマナー」について、協働センターの方で何か楽しめながら学べる企画があるとよい。（山田委員）

○挨拶

- ・ 低学年の手本となるよう高学年が挨拶できるようになるのが望ましい。（田力委員）
- ・ 子供たちが、挨拶する人しない人を選んでいる。（自分が知っている人にしか挨拶しない。）授業でボランティアの方々が子供たちに声を掛けてくださるのはとても大切だと思う。（小田木委員）
- ・ 何で「日本一の挨拶」でなければならないのか。（長谷川委員）
- ・ 日本一になりたいか子供たちに問い掛けてみてもいいかもしれない。（石野校長）

○気賀っ子応援団

- ・ ボランティアに参加した人や子供たちの感想を便りに載せてはどうか。（山田委員）
- ・ LINEでメンバーとつながれるようになり、気軽にボランティアに参加してもらえようになった。今後、便り等に参加者の声を反映させたいと考えている。（藤田委員）

その他連絡事項等

- ・ 次回議長の選出について意見を求めたところ、多くの委員から宮崎会長を推挙する旨の発言があった。
- ・ 次回会議は、令和6年10月28日（月）午後1時15分から第1会議室で開催する旨の連絡があった。